

広島市植物公園

見どころ案内

シュウメイギク

(キンポウゲ科)

名前に菊とついていますが、アネモネの仲間です。花びらのように見えるのはガクで、花びらはありません。

ホトギス (ユリ科)

東アジアに分布していますが、固有種の多さなどから日本が原産と考えられています。

名前の由来は花の斑点が鳥のホトギスの胸の模様似ていることから名づけられました。

キクイモ (キク科)

北アメリカ原産の植物で、日本には江戸時代末期に伝来しました。繁殖力が強いため各地で群落を見ることができます。多糖類イヌリンが健康に良いとされ、過去に何度かブームになっています。

ダリア (キク科)

秋を代表する花の一つです。長い間をかけて品種改良が行われ、多種多様な色や大きさのものが作られました。

江戸時代に日本に渡来し、花の形が牡丹に似ていたため天竺牡丹と呼ばれていました。

ハイビスカス・

アーノツティアヌス (アオイ科)

白い花卉と赤い花柱のコントラストが美しいハワイ原産のハイビスカス。暑さが和らぎ、花が増えました。

サガリバナ (サガリバナ科)

本来は夏に咲く一夜花ですが、二番花が咲いています。午前中は観賞することができます。

展示会のご案内

- ◇展示資料館 (10/10~10/25) 野生きのこ展
- ◇展示温室 (10/10~10/25) サボテン展

キジョラン (ガガイモ科)

関東以西に自生するつる性植物です。冬になると実がはじけ、中から白い綿毛が出てくる様子を鬼女の髪に見立ててこの名前が付けました。

アサギマダラの幼虫の食草で、卵が産み付けられます

ハギ各種 (マメ科)

ハギは秋の七草のひとつです。ハギの仲間は種類が多く、ハギ園にもいろいろなハギが植栽されています。

フジバカマ (キク科)

秋の七草の一つです。野生株は減少しており、広島県では絶滅危惧Ⅰ類に指定されています。

旅する蝶、アサギマダラが飛来中です。

ジュウガツザクラ (バラ科)

江戸時代に作られた園芸品種でこの時期に花を咲かせることからこの名前が付けました。

実際には春までぽつぽつ花を咲かせ、四月に一番多く花を咲かせます。

サルビア・レウカンサ (シソ科)

中央アメリカ原産のサルビアで、アメジストセージとも呼ばれます。紅紫色でビロード質の花穂がよく目立っています。

アルテルナンテラ (ヒユ科)

カラーリーフの代表的な植物です。花壇の縁取りや寄せ植えに多用されます。中南米原産で、現地では多年草ですが寒さに弱いので日本では1年草として扱います。

